

日本貿易会常任理事会社有志の情報調査・経営企画担当部署の皆さんを中心に2002年の日本経済を取り巻くさまざまな要素について予測をしていただいた。詳細は別掲の一覧表にまとめたのでご参照願いたい、その概要は以下のとおり。

まず日本経済の成長率について、政府経済見通しは0%であったが、各社の見通しはいま少し慎重で、その大半は0.5%から1.0%前後を予測している。

株価は概ね3月ごろ底をつけ秋にかけて上昇し、年末には若干調整されとの予測が多い。価格は安値が9,000円前後、高値は12,000円から13,000円前後で、年末には高値を若干下回るレベルで推移する。3月の安値は、金融庁の特別検査実施、バイオ解禁、持ち合い解消売りの影響などが集中的に出ることを考慮したものと思われ、その後米国経済回復などを受けて徐々に上昇に向かうとの判断であろう。ただし小泉構造改革が進行過程にあることなどにより、年間を通じて株価上昇の程度は限られている。

一方、失業率の見通しにはより厳しいものがあり、昨年11月末統計史上最悪の5.5%を記録したが、本年もこの数字が徐々に上昇し、年末にかけてピークに近いレベルで推移すると見ている。年末の数字は6%前後が中心だが、中には6.5~7%を予測するところもある。経済構造改革の進展とともに企業の構造改革が進み、その過程での失業率の増大は避けられないとの見方であろう。

昨年末OPECが減産に合意したが、原油価格は、春ごろまではいまい少し下落し、その後本年半ば以降米国ならびにアジア経済などが回復に向かうとの予測から、後半には上昇トレンドに入る。そして秋ごろ25ドル前後でピークをつけた後、年末には20ドル台前半で推移するとの見方が多い。

輸出・輸入とも総じて横ばいもしくは減少するなかで、貿易収支は8兆円、経常収支は

10兆円レベル、昨年に比べ黒字はほぼ横ばいと予測するところが多い。ただ中には、輸出が下げ止まらず、貿易収支が6兆~7兆円レベルまで減少するとの厳しい見方をするところもある。

為替レートは昨年末の132円台がいま少し円安に向かうが、概ね135~140円程度で下げ止まり、円安の行きすぎを調整したうえで、年末にかけては120円台後半から130円前後で推移するとの見方が多い。

世界経済に影響を及ぼす要因として圧倒的に多いのが「米国経済のゆくえ」である。その他「グローバル化の流れとWTOの動き」「WTOに加盟した中国の動向」を挙げたところもある。

日本経済に影響を及ぼす要因で圧倒的に多いのは、予想通りではあるが「小泉構造改革のゆくえ」と、その一環としての「不良債権処理の展望」である。

商社の有望ビジネス分野としての主役はやはり「IT」「環境」関連である。加えて「介護・福祉」「バイオ」「ナノテク」分野を挙げたところも多い。さらに少数ではあるが「エネルギー開発」「バリューチェーンのネットワークビジネス」なども挙げられている。

また昨年来、特にアジア地域で動きが活発となっているFTA締結への、2002年中の展望については各社かなり悲観的である。懸案の農業問題への対応なども考慮し、いまい少し時間がかかるということなのか。

総じて本年前半は厳しい経済情勢が続き、半ば以降徐々に好転するとの見方が支配的である。

回答者	世界経済を左右するキーワード	日本経済を左右するキーワード	実質成長率 (%)	失業率 (%)		対ドルレート (円)		
				ピーク	年末	最高値	最安値	年末
伊藤忠商事マネジメントコンサルティング(株)	文明の衝突 グローバルマネーフロー WTO加盟後の中国と米国景気の回復	不良債権処理と金融不安 失業と生活不安 デフレスパイラルと産業の競争力低下	▲0.4	6.5	6.0	130	150	145
稲畑産業(株)経営企画室	IT産業 米国	IT産業 不良債権 中国	0.0	7.0	6.0	120	135	125
兼松(株)経営企画室	米国の景気回復 中国のWTO加盟	構造改革 不良債権処理 サッカー・ワールドカップ	▲0.6	6.5	6.0	120	145	130
住金物産(株)経営管理部	米国経済の動向 日本経済の再生	行政改革 金融政策	▲1.0	5.8	5.8	115	135	130
住友商事(株)情報調査部	米国経済の回復 セキュリティ	不良債権処理 規制改革 税制改革 米国経済	▲0.4	6.0	5.8	110	140	130
(株)トーマン経営企画部情報調査グループ	文明の衝突 M&A IT	信用リスク 構造改革 中国	▲0.5	6.5	6.0	120	140	135
豊田通商(株)経営企画部	同時不況 WTO 国際テロ 宗教・文化のせめぎ合い グローバル化とリージョナル化	不良債権処理 金融再生 デフレ 生産拠点の海外移転 構造改革 民営化 規制緩和 グローバル化 国際会計基準	▲1.0	5.8	5.7	120	135	135
長瀬産業(株)総合企画室	政情不安 イデオロギー衝突 南米	中国 銀行の信用不安 倒産増加	▲1.5	7.0	7.0	110	150	140
(株)ニチメン情報調査研究所	グローバリゼーション 米国経済の復活	構造改革 流動性の限 公的債務の呪縛 デフレ・スパイラル	▲1.0	6.5	6.5	115	135	125
日商岩井ビジネス戦略研究所	WTO新ラウンド交渉 グローバリズムの逆流 中国の躍進	構造改革 不良債権問題 金融システム不安	▲0.5	6.0	6.0	115	135	120
(株)日立ハイテクノロジーズ経営企画室	IT バイオ 環境 米国 中国	構造改革	▲0.9	6.0	6.0	120	130	120
三菱商事(株)国際戦略研究所	世界同時不況 米国一極集中から多極化へ 効率至上主義から安心・安全への配慮向上	構造改革の進展 不良債権処理の進展 デフレの進行	▲1.0 前後	6.5	6.5	115	135	125
丸紅経済研究所	IT需要の動向 金融財政政策の効果	信用リスク 輸出	0.0	6.0	5.8	117	140	122
(株)三井物産戦略研究所	米国経済の行方	小泉改革の行方	▲0.5	5.7	5.7	122.5	135	125

株価 (東証平均) (円)			原油価格 (WTI) 1/バレル当たり (ドル)			輸出 (前年比) (%)	輸入 (前年比) (%)	貿易収支 (兆円)	経常収支 (兆円)	FTAを結ぶか ほぼ合意に至る国	期待される 商社の ビジネス分野
最高値	最安値	年末	最高値	最安値	年末						
14,000 (12月頃)	10,000 (3月頃)	13,000	22 (10~12月頃)	18 (4~6月頃)	22	1.0	▲1.5	9	11	オーストラリア	エネルギー(特にガス)、物流、食料
12,000 (秋頃)	9,500 (春頃)	11,000	25 (秋頃)	16 (春頃)	22	▲0.5	▲0.5	9	9	韓国 タイ	IT、環境、介護
14,000 (第4四半期頃)	9,000 (第1四半期頃)	12,000	25	17	20	▲9.0	▲7.0	約6.5	約7.5	なし	バイオ、ナノテク、健康・安全な食品
12,000	9,000	11,000	26	16	22	▲2.0	3.0	6	7	なし	環境ビジネス
15,000 (秋頃)	9,000 (春頃)	13,000	25 (秋頃)	15 (春頃)	25	2.0	1.0	8	10	なし	IT、健康、福祉・介護、ナノテク、環境、消費流通、バイオ
12,000 (12月頃)	9,000 (3月頃)	12,000	23 (8月頃)	18 (12月頃)	20	1.0	0.1	8.0	9.5	韓国	環境プラント、交通システム、新エネルギー
15,000 (10~12月頃)	9,000 (1~3月頃)	13,000	22	17	21	1.0	0.1	8	10	なし	バイオ、新素材、環境関連(クリーンエネルギーを含む)、介護、IT関連
12,000 (12月頃)	9,000 (4月頃)	12,000	25 (12月頃)	20 (4月頃)	25	▲1.0	▲1.0		10	タイ	バリューチェーンでのネットワーク型ビジネス
13,000 (12月頃)	9,000 (3月頃)	13,000	25 (10月頃)	18 (3月頃)	22	▲5.0	0.0	6	8	なし	ソリューション・ビジネス
12,000 (12月頃)	9,000 (3~4月頃)	11,500	24 (11月頃)	22 (8月頃)	23	1.0	0.1	2.8	9.7	韓国	環境、バイオ、知的財産権関連ビジネス
12,000 (12月頃)	9,000 (3月頃)	12,000	25 (12月頃)	20 (1月頃)	25	▲3.3	▲3.7	8	10	なし	IT、バイオ、環境
12,000 (12月頃)	8,500 (2月頃)	12,000	24 (11月頃)	15 (3月頃)	23	約▲1.0	約0.0	7.4	9.5	なし	エネルギー、資源、食糧・食品、情報通信、環境、バイオ
13,000 (12月頃)	9,500 (3月頃)	12,000	28 (12月頃)	17 (3月頃)	26	3.9 (通関ベース)	1.2 (通関ベース)	8.4 (国際収支ベース)	11.6 (国際収支ベース)	なし	ベンチャー投資(バイオ、福祉)、エネルギー全般
13,000 (10~12月頃)	10,000 (1~3月頃)	13,000	23 (4~6月頃)	16 (1~3月頃)	19	0.0	▲3.0	8.5	10.25	年内は考えにくい	セキュリティ・ビジネス、金融セーフティネット